

「しまね教育の日フォーラム2012」

○「しまね教育の日」

今日の家庭環境や社会的な価値観の変化による地域の教育力の低下、学校教育におけるいじめや学級崩壊など緊急に解決すべき課題に対処していくためには、学校だけでなく、家庭、地域、学校、行政が一体となり、県民総参加で教育に関わっていくべきとの趣旨で、毎年11月1日を「しまね教育の日」、それに続く11月7日までを「教育ウィーク」とされています。

県、市町村教育委員会、学校、教育関係団体等において様々な取組が行われ、昨年度は取組事業件数で約1,300件、延べ42万人が「しまね教育の日」「しまね教育ウィーク」の関連行事に参加しました。

○「しまね教育の日フォーラム2012」

- ・日 時 平成24年11月1日(木) 13:30~16:30
- ・場 所 サンラポーむらくも(松江市殿町) 瑞雲の間
- ・主 催 島根県教育委員会、島根県、青少年育成島根県民会議
- ・趣 旨

テーマ 「夢を描き、その実現に向かっていく子どもを育むために」

学校、家庭、地域が、連携協力関係を構築し、社会総がかりで教育力を充実していく取組が進められています。

中学生及び高校生も、学校、家庭、地域の中でさまざまな人と関わり体験を重ねることで、自らの役割や将来の生き方等について、考えをめぐらせています。

このフォーラムは、県内の中学生及び高校生の発表を受けて、中学生及び高校生が考えていることを受けとめるとともに、社会的・職業的に自立する子どもたちをどのように育むかについて考え、今後の議論や具体的な取り組みにつなげようとするものです。

・プログラム

■開会のあいさつ (13:30~)

島根県教育委員会教育長 今井 康雄

■基調講演 (13:40~14:40)

肥後 功一 島根大学副学長(兼キャリアセンター長)

演題『めざすこと、すごすことーキャリア教育を考えるー』

■中学生・高校生の発表 (14:40~15:10)

- ・島根大学教育学部附属中学校生徒による事例紹介
- ・島根県立出雲高等学校生徒による事例紹介

■パネルディスカッション (15:20~16:20)

・コーディネーター 肥後 功一(島根大学副学長(兼キャリアセンター長))

・パネリスト 後藤 幸江(NPO法人ユースネットしまね理事長)
(4名) 齋藤 英明(島根大学教育学部附属中学校副校長)

高見 敏彦(島根県立出雲高等学校教頭)

永瀬 嘉之(島根県教育庁高校教育課キャリア教育担当調整監)

※発表をした中学生及び高校生も参加します。

■閉会のあいさつ (~16:30)

島根県健康福祉部長 布野 典男